

ようやくお天気も落ち着いて、さわやかな日が続いています。つい先日までは雨が降ったり、気温が高かったりで、校庭で遊べない日も多かったですね。そんな時は、校舎内でケガをする人がいなければいいなあと思っていましたが、ほとんどの人が約束を守って、大きなケガもせず、安全に休み時間を過ごしてくれました。

ところで、ケガといえば、学校でちょっとしたケガをしたときは、どうしますか。

保健室に行って治療していただきますね。その時傷口に貼ってもらうのが、……そう、バンソウコウ、ですね。あのバンソウコウの色は、何色と言いますか？ 大人の人、もしかすると、皆さんの御家族も「肌色」と呼んでいるかも知れませんが、間違いではありませんが、今では「はだいろ」という言い方は次第に使われなくなってきています。色鉛筆でも「ペールオレンジ（薄いオレンジ色）」となっています。バンソウコウの色は、確かに私たちの肌と、似た色です。肌色というイメージにも合っているのに、なぜその言い方が使われなくなってきているのでしょうか。……

そう、世界には私たち日本人の肌と違う肌の色をした方々がたくさんいるから、ですね。皆さんが御存じのスポーツ選手の中にも、大勢いらっしゃいますね。

あるバンソウコウを作る会社では、薄い茶色から濃い茶色まで、5種類のバンソウコウを作り販売しています。少しでも多くの、肌の色の違う方につかっていただきたい、という思いからです。人種差別への抗議もあります。

ニュースをよく見ている人は、アメリカで起きている事件についても御存じでしょうか。警官の人が、相手が黒人だからといって、とてもひどいことをした、という事件です。先程のスポーツ選手もそのことへの抗議のため、試合をボイコットしたというニュースも流れています。

世界には196の国があり、総人口は77億人。当然肌の色は違います。世界の人が共に幸せに生きていくため、こんな些細な事、肌の色が少し違うということだけで、相手をひどい目に遭わせることは、けしてしてはならないことです。

肌の色のような見かけだけではありません。信じる神様が違う、考え方が違う、……だから、責める、攻撃する、たたきのめす、……戦争になってしまうことだってあります。

実はこういうことって、私たちの身近にも起こり得ます。

それが「いじめ」です。人とちょっと違う考え方をする、見かけが違う。ただそれだけのことで、人をからかう、嫌なことを言う、文句を言う、悪口を言う、責める、言葉でたたきのめす、……。けして、許される行為ではありません。

皆さんが生きる世界には、2030年までに達成しようとする17の目標があります。

難しい言い方ですが、アルファベット4文字で「SDGs」と言います。その一つに、「人や国の不平等をなくそう」という目標があります

「そうなのか。じゃあその時までには、差別やいじめが、なくなっていればいいな。」と考えては、ダメです。

なぜって、その時皆さんは何歳になっていますか？ 2030年ですから、6年生は22歳。大学を出て社会人になる年、2年生は18歳。もう選挙で投票ができる年齢です。すなわち、皆さん自身が 世界を変えていかなければならない 年齢なのです。ですから「なくなっていればいいや」ではなく、「なくしていこう。絶対に差別やいじめをなくすんだ！」という、強い言葉、強い気持ちをもってください。

そのために、今できること。・・・ 自分のクラス、自分の学年、自分の学校、自分の地域、・・・から、差別やいじめをなくすこと。その気持ちをもつことこそ、今必要なことです。一人ひとりが、真剣に、何をすべきか具体的に考えてください。

例えば、・・・

「人から『やめてよ！』と言われない」

「変なの。」という言葉を使わない。

ここまで考えることで、思いが具体化し、いじめも差別もなくなっていくはずです。

たった一カ月で大分涼しくなりました。先月までと同じ服装でいて、風邪などひかないよう、体も、心も温かくして お過ごしください。以上でお話を終わります。